

平成 26 年度「がんばる先生支援」申請書

本研究に対する支援を受けたく、次のとおり申請します。

<p>1 研究コース等 ( 個人 ・ <input type="checkbox"/> <b>グループ</b> ) 研究 ( <input type="checkbox"/> <b>基礎</b> ・ <input type="checkbox"/> <b>今日的課題</b> ) 研究コース ※( )内はいずれかに○を記入してください。</p>
<p>2 研究テーマ 「自尊感情を高め、人生を支える体力を育成する」 ～ できた！おもしろい！さらに挑戦！～</p>
<p>3 研究目的 本校は、「全国学力学習状況調査」では、国語・算数ともほぼ全国平均を上回っているが、「運動能力・運動習慣等調査」では、ほとんどの種目で全国平均を下回るという深刻な状況である。また学校アンケートに見られた自尊感情の低さも憂うべき課題である。 本校には「えのものの森」や「土俵」といった地域から寄贈された、熱く、思いの強い教育施設がある。また、校区内に幼稚園から高等学校までの教育機関があり、特にスポーツ分野において顕著な実績のある汎愛高校とも日常的に連携を図っている。このような本校独自の財産および環境を活かし、地域住民・近隣学校園との相互参画により、生涯にわたって運動を楽しみ親しむ体力を育成したいと考えた。 また日常的な運動や遊び、地域交流、最後まできちんと片づけることなどを通して、体力のみならず、思いやりの心や社会への帰属意識、規範意識、自尊感情を高めたい。 本研究の過程においては、大学教授等の専門家や先進事例に学び、教員の指導力・資質の向上にもつなげたい。</p>
<p>4 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 遊びのなかから運動の楽しさを味わわせ、日常的に運動に親しむことのできる、場の工夫と指導法の開発(特に「えのものの森」と「土俵」の効果的活用)</li><li>○ 「できた」という達成感、「もっとがんばりたい」という意欲を高められる、強調週間やがんばりカードの開発(業間体育、なわとび週間、かけあし週間等による運動の習慣化)</li><li>○ 生涯体育、人生を支える体力という観点からの、幼・小・中・高の、効果的な指導の連続性、接続性の研究</li><li>○ 社会への帰属意識を高め、体力・運動能力の向上につながる地域交流の取組み(昔あそびの会や感謝集會に体力づくりの要素を取り入れる)</li><li>○ 準備から片づけまで責任をもって安全に行え、規範意識の高まりにつながる環境整備(自分たちの運動用具を大切にしようと感じられる整理用具の整備とルールづくり)</li><li>○ 専門家・先進事例からの学びによる、教員の指導力・資質向上(大阪教育大学教授による指導助言。大学の運動部員によるサポート。全国大会参加と還元研修の実施)</li></ul>
<p>5 活動計画(日程)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 「体力づくりプラン」年間計画の策定と実施 季節に応じ、学年の実態に応じた、本校独自の計画を策定する。各学年の目標を数値化し、児童にもわかりやすく示す。たとえ達成できなくても、「今度はがんばろう」「次の学年では達成しよう」と意欲づけできる工夫を取り入れる。</li><li>○ 「えのものの森」の活用 自然を感じながら楽しんで取り組めるランニングコースづくりや、間伐材を利用したアスレチックづくり等により、基礎体力、平衡感覚、跳躍力などを伸ばす。</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「土俵」の活用 転落した時のけがを予防する策を講じたうえで、相撲独特の動きによる体づくり運動に取り組む。ゲストティーチャーの活用も考える。</li> <li>○ 「昔あそびの会」など カンぽっくりやけんだま、竹馬といった、遊びの中にも体力づくりの要素のあるものを多く取り入れ、地域の方とともに楽しむ。</li> <li>○ 強調週間等による、意欲づけと習慣化</li> <li>○ 運動用具を大切にす、意欲づけとルールの定着</li> <li>○ 計画的な研修・研究活動 授業研究会を各学年1回ずつ行う。11月の全国学校体育研究大会に参加する。</li> </ul>
<p>6 見込まれる成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 運動能力・運動習慣等調査のポイントアップ(27年度には全種目で全国平均を上回る)</li> <li>イ 日常的に体力づくり・運動に取り組む児童の増加</li> <li>ウ 「体育が好き」「体を動かすことが好き」と感じる児童の増加</li> <li>エ 「学校が好き」「自分が好き」「友だちが好き」と感じる児童の増加</li> <li>オ より一層子どもに寄り添う教育実践が行える、教員の指導力・資質の向上</li> <li>カ ア～オの成果が、児童の学力向上、豊かな心の育成にもつながる</li> </ul>
<p>7 成果の検証方法(※客観的な指標により、数値で示すことができる方法で記述すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動能力・運動習慣等調査」 5月実施の結果を受け、重点的に取り組むべき種目について1月に再度実施し、能力の伸びを計測し、数値化・グラフ化する。</li> <li>○ 運動アンケート(児童対象) 年2回実施し「体を動かすことが好き」の回答の伸びを計測し、数値化・グラフ化する。</li> <li>○ 授業アンケート(保護者対象) 年2回実施し、教員の資質向上による授業力評価の伸びを数値化し、客観視することで、教員自身の自尊感情を高める。</li> <li>○ 保健室への来室数 体のバランスの悪さや瞬発力、注意力の不足に起因すると思われる外科的な来室数を数値化・グラフ化する。特に病院への搬送を要する、大きなけがを減少させる。</li> </ul>
<p>8 研究発表の日程・場所(予定も可)※今日的課題研究コースは必ず記入 (日程) 平成27年1月30日 (場所) 大阪市立榎本小学校 予定</p>
<p>9 予定経費額 金1,000,000円</p>
<p>※研究内容に関する所属校園長のコメント等があればご記入ください。</p> <p>本校では、児童の体力向上と自尊感情の育成が喫緊の課題となっております。「えのものの森」や「土俵」といった本校独自の特色ある教育環境を活かし、地域との連携、校種間の連携等、子どもを取り巻くあらゆる人や機関のつながりを大切にするなかで、すこやかな体と豊かな心を共に伸ばそうとする本校研究に対し、なにとぞご支援賜りますようお願いいたします。</p>